

# 保育所における自己点検・自己評価

- A : たいへん良い  
 B : 良い  
 C : 一部検討を要する  
 D : 改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
保育目標について	(1) 保育目標を具体化し、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			十分に養護の行き届いた環境の下で年齢発達にあわせ、個々の発達に合わせた目標を設定している。		
	(2) 設定した重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			保護者の願いに耳を傾けつつ、設定した目標は個々に合わせ安定した保育が提供できるように努めている。		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			子どもの年齢発達に合わせ作成している。生活の全体を通して子どもの育ちを考え配慮し作成している。		
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			日々の生活に合わせた生活の持続性や、季節の変化、地域性に合わせ、こどもが主体的に活動できるよう工夫している。年齢に応じて個から集団への遊びを工夫している。		
行事について	(1) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			行事計画も、季節の伝統行事を取り入れつつ、子どもの意欲を引き出しながら楽しく参加できるようにしている。		
	(2) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			乳幼児の主体性を把握した活動内容だけでなく、心の育ちや意欲、取り組み姿勢を取り入れた活動にしている。		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になるよう努力しているか。	○				職員それぞれの役割を十分に理解し合い、更に職員間で連携が取れるように考えている。	
		(2) 職務内容を理解し、協働できる体制になるよう努力しているか。	○				職場内でも仕事の内容が明確に分かるよう、マニュアルを通し相互理解に努めている。会議などでより良く改善できるように話し合いをし、実践し工夫している。	
		(3) 割り当てられた係や仕事を完遂する努力をしているか。		○			係担当者が事前に連携の取り合いを行っている。係以外でも協力体制ができています。	
	運営	(1) 自己の職責を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				職員間でも、更にお互いの職種を理解し合い「子どもたちのために」より良い集団作りを進めていく。利用する皆が、気持ちよく働けるようにしている。	
		保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような、具体的保健対策を行っているか。	○				子どもたちの感染状況などを正しく周知し合い、子どもの集団全体の健康を考え対応している。感染予防に力を入れている。
			(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				避難・防犯等は、一日の色々な時間を想定し計画を実施している。就学前の子どもたちには交通安全指導を行っている。
			(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				一人ひとりの健康状態を受け入れ時、また保育中を通じて観察し、必要な情報を正確に知らせ感染症の蔓延を防ぐために、囁託医、行政との連絡を密にしている。
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				行政からの最新の情報の共有や、保護者からの情報等を職員間で周知徹底を図る。防犯カメラ導入でより安全な連携をとっている。	
	研修	研修	(1) 資質向上及び自己啓発に努めるための研修会には積極的に参加し、自己研鑽に努めているか。	○				内部・外部共に充実している。職員がスキルを上げるための研修も積極的に取り入れ自己研鑽に努めている。
			(2) 研修会、講習会、地域におけるボランティア活動に興味を持ち、自ら積極的に参加しているか。		○			研修会・講習会の参加は充実している。ボランティア活動については、それぞれの諸事情を考慮いたうえでの参加となる。

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報についてはマニュアルに基づいて適正に行い、不要なものについてはシュレッダーをかけている。	
	(2)各表簿は、適正な時間・方法で作成、処理しているか。		○			各帳簿についても適正な時間・方法で作成処理をしている	
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行い、不都合が生じた場合には迅速な報告・対応・処置を行っているか。	○				毎日・毎月必要な個所の点検を必ず行い、不備があったときは最善な方法で対応している。	
	(2)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。		○			月末に必ず防犯訓練を行い不審者の侵入や、合言葉、外部に出た時は連携が取れるようにしている。	
開かれた保育所づくり	家庭・地域との連携	(1)保護者や地域の人たちと連携しているか。	○				日頃から保護者からの意見には耳を傾けている。地域との連携も良好である。
		(2)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。また、その意義を理解しているか。		○			地域への活動も積極的に活動を行い、保育室での交流保育なども進んで活用することが出来ている。
		(3)地域におけるボランティア活動に積極的に参加しているか。また、地域の文化や生活に触れているか。		○			出来る限りの地域への参加し交流している。近隣に神社・寺院などもあるので季節の風習に触れている。
	子育て支援の連携	(1)地域の子育てセンターとして、保育園の実績や状況に応じながら事業を計画し、積極的に実施しているか。		○			毎週木曜日、また子育て支援日には、積極的に保育室の開放を行い、交流保育への充実を行っている。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行う意義を理解しているか。また、交流を図ることに前向きであるか。	○				子育て支援の計画に基づいて交流保育を積極的に取り入れ、楽しんで利用して頂けるよう工夫している。子どもたちも地域のお友だちと関わっている。
	評外価部	(1)地域の保育園理解に積極的に努めているか。また、保護者の意見を知る努力をし、相互の連携を図り、保育に反映させているか。		○			子育て支援の計画に基づいて交流保育を積極的に取り入れ、利用者の声も聴きながら反映させている。